

ふれあい

2014

11

No.332

牛久愛和総合病院 広報誌



平成26年9月24日(水)
「救急事例検討会」(当院大ホールにて)

「何かが出来て、何も出来ない…、けれど何かする脳外科医という仕事」

脳神経外科 医長 松岡 剛



当院は住民84,206人、34,398世帯(平成26年9月1日現在)が暮らす牛久市の急性期医療の中心的役割を担っている病院です。この人口に、周辺の龍ヶ崎市(79,148人)、つくば市(220,620人)、つくばみらい市(48,737人)、取手市(109,303人)なども加えて大きな人口圏をカバーしています。一方、茨城県の医師数は埼玉県に次いで少なく(全国ワースト2)、人口10万人当たり155.1名です(埼玉県・141.6名、東京・282.0名、群馬県208.6名、栃木県204.7名)。すなわち少ない医師数で広域の患者さんをカバーしているという図式となっております。

脳疾患は急性発症し、急激に状態が悪くなることがあり、患者さんやそのご家族の不安は甚だしいものです。これに対して、我々には迅速な対応が(たとえ少ない医師数でも!)日夜求められています。最近では救急搬送の時点で脳疾患を速やかに疑い、脳疾患を診られる病院へ搬送することで患者さんの予後が改善すると言われており、当院でも救急隊との連携・勉強会を通して稲敷地域の救急医療のレベル向上に寄与せんと努力しています(表紙の写真は当院で行った救急・消防隊向けの勉強会の風景。全国消防長会の広報HPで採り上げられました)。搬送後においては、看護師、薬剤師、技師、栄養士、リハビリスタッフらに協力してもらい、総力を挙げて患者さんの治療を行っています。また、脳疾患は患者さんやその家族の生活を一変させます。生活から経済活動まで全ての相談に乗ってくれる医療相談員の役割もなくてはならない存在です。脳外科は血管障害を疾患背景に持っていることが多く、他科の医師にお世話になることも多い科です。餅は餅屋というように、各診療科の専門の医師の力なくして患者さん

を満足に治療することが出来ないこともあります。何も出来ない…と無力感を感じることもありますが、まさに(前向きに捉えるならば!)、チーム医療の力が試される診療科だというわけです。

こうした様々なスタッフが介在して、それぞれの専門分野で専門的な医療的サポートをしていくのは大切なことですが、同じ方向性を見ながら患者さんのBest answer(最適な目標)に向かって全てが進んでいくことが必要です。超急性期の治療(すなわち、救命や緊急の外科治療などの積極的治療)が終われば、残る脳外科医の仕事は多くのスタッフとともに一人一人の患者さんにとってのBest answerを考えて、舵取り役をしていくというに移っていきます。

各領域の専門のスタッフに囲まれ、その協力を得て、患者さんにとってBestな結果が提供されるようにサポートしていく、そんな医療を目指して、当院で脳外科診療を実践していきます。今後ともよろしく願います。

病院で働く人(職種紹介) 13

視能訓練士

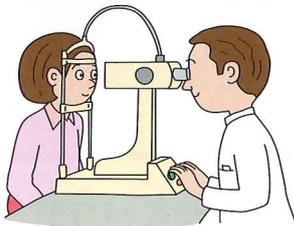
眼科 佐々 あゆ美



こんにちは。今月は視能訓練士について紹介をさせていただきます。

みなさんは視能訓練士という職業をご存知でしょうか？簡単に説明すると、医師の指示の下で眼の検査や訓練をするお仕事です。この資格をもった人は全国に約一万人程度とまだまだ少ない職業です。検査には視力検査、視野検査、手術前検査、斜視検査、弱視検査・訓練、眼鏡処方など色々あります。当院で最も多い検査は視力検査、視野検査です。視力検査はランドルト環を用いて5mの距離で測定するものでみなさん一度は検査されたことがあるかと思いますが。次に視野検査です。視野検査は一点を見た状態でどのくらい見えるか、見える範囲を調べる検査です。視野検査には緑内障などの視神経疾患を調べる静的検査、脳梗塞などの頭蓋内疾患を調べる動的検査の二種類

があります。疑われる疾患によってどちらの方法で検査するかを決めて測定します。



「見えづらい」、「物が歪んで見える」、「黒いものが見える」、「視野が狭くなった」など訴える症状はみなさん様々です。症状によって検査の内容が異なるため、色々な検査機器を使用し、どのような状態なのかを詳しく検査していきます。出した結果は医師の診断や治療方針につながるため、的確かつ正確な技術が求められます。みなさんの気持ちに寄り添い、心の繋がりも大切に検査に努めますので、安心して眼科外来にいらしてください。

DMカフェ



糖尿病専門医 河邊 聡子
糖尿病看護認定看護師 栗山 千絵

日ごとに夜の時間が長くなり、ついつい夜更かししていませんか。秋の夜長にご注意を。

ワンポイントアドバイス

〈糖尿病教室のご案内〉

気温が下がるこの時期は、鍋料理を食べたくありませんね。鍋料理にすると野菜をたくさんとりやすく、低カロリーでヘルシーなイメージがありますが、食材選びに注意が必要です。牛、豚バラ肉は入れると美味しく入りますが、細かく脂肪が入っており20gで80kcalと高カロリーです。ちなみに、食品交換表(栄養素の分類表)では肉魚などタンパク質を多く含む食品群ではなく、植物油やバターなどと同じ油脂類に分類されています。薄味の鍋に比べ、味の濃いスープには塩分が多く含まれています。血圧の高めな方はなるべくスープを残すなど注意が必要です。満腹になつているのに、残ったスープにご飯を入れ雑炊にすると、溶けだした脂肪が入ってしまうこととなります。野菜

12月10日 糖尿病について
12月17日 冬の上手な過ごし方
12月24日 気をつけよう！
年末年始の食生活

からだ情報館において14時30分から開催しています。お気軽にお越しください。



入職者



10/1付入職 内科 本多伸一郎

- ①担当 ②専門とその紹介 ③出身大学 ④趣味 ⑤生年月日 ⑥血液型 ⑦星座

- ①総合診療科 火・水・土午前 12月より月 午後、水・土 午前 ②筑波大学では免疫の研究をやつて参りましたが、御縁がありこちらにお世話になることになりました。常に「よるべなき病者の友」でありたいと思います。よろしくお願ひします。

- ③長崎大学 ④サッカー、テニス ⑤昭和42年12月9日 46歳 ⑥AB型 ⑦射手座



春秋園だより

十一月に入りすっかり秋らしくなりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

先日、春秋園では運動会が開催され、紅組・白組に分かれ、熱戦が繰り広げられました。皆様の笑顔が溢れ、楽しそうな姿を見ることができました。特に、メイン競技の物送りではバランスボールを使つての大玉送り。私たちスタッフも加わり、一緒に楽しむことができました。さらに、スタッフによる障害物競走や綱引きでは、利用者様も一生懸命応援してください、スタッフも



利用者様に負けないぐらい全力で取り組みました。いくつになつても運動会というのは夢中になつてしまいます。筋肉痛が心配でしたが、三日間無事行うことができ、スタッフ一同ひと安心という気持ちと、また一つイベントが終わつてしまったという少し淋しい気持ちになりました。しかし、十二月には今年最後の大イベント「クリスマス会」が行われる予定です。皆様、ぜひ二度見学にいらして下さい。これから、本格的な冬がやってくる。温かい物を食べ、今年の冬も乗り越えたいと思います。

(通所リハビリスタッフ一同)

第16回愛和健康まつり開催しました

10月26日(日)、毎年恒例の「愛和健康まつり」を開催し、約900人の方が来場されました。

今年も、例年とは異なり、屋外メインステージをC館駐車場に移しましたが、ステージで練り広げられるダンスや演奏、フリーマーケットや模擬店など各催しとも大盛況でした。ねこバスやはしご車体験では、子供たちの喜んだ笑顔が一層キラキラと輝いていました。

院内では、今年も「骨密度測定」「皮下脂肪測定」「肺年齢測定」「尿検査」の人気の検査コーナーでは、整理券は早くに終了してしまいましたが、その他にも各種無料相談コーナーや院内見学ツアー、折り紙体験等の様々な催しがあり、整理券が手に入らなかつた方にも満足していただけたのではないかと思います。特に、一昨年から始めた「院内見学ツアー」では、普段は入ることのできない病院の様々な箇所を回るため、参加さ

れた皆様が短い時間の中でも楽しんでくださっていたのが印象的でした。

また、今年も「お見合いパーティー」の新企画もあり、事前予約の方々にお越しいただき、大変盛り上がりました。

来年も今回の反省点を活かしてよりよいまつりを開催できるように考えていきたいと思っております。今年もたくさんの方々にご来場・ご参加いただきましてありがとうございました。

(健康まつり実行委員会)



